

ACE剤阻害剤 桜ヶ丘院内フォーミュラー ※1 2024年7月発行

		第一選択	第二選択
医学的区分	高血圧症	<p>エナラプリル錠</p> <p>(先発名:レニベース)</p>	<p>ペリンドプリル錠</p> <p>(先発名:コバシル)</p>

※1 参考ガイドライン:「高血圧症ガイドライン2019」他、各ガイドラインでACE阻害剤は薬効群として推奨されており特定の薬剤は推奨されていない。

【詳細】

◎第一選択薬について

★エナラプリル:①高血圧症、及び慢性心不全(軽症～中等症)に適応を有し、小児へも使用可能

◎第二選択薬について

★ペリンドプリル:①外国(英国・米国)で高血圧症以外の適応も有し1日1回で利便性もよいが日本では高血圧症の適応のみ

◎条件付き選択薬について

☆イミダプリル:①高血圧症、1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症に適応があるが、高血圧症において他剤と比して有効性が低く心血管イベントの抑制も示されていないので条件付きとし区別する。

条件付き選択薬
<p>イミダプリル錠</p> <p>(先発名:タナトリル)</p>

成分名	エナラプリル	ペリンドプリル	イミダプリル
採用剤形・力価	錠 2.5/5mg 「トーワ」 後発品	錠4mg 「サワイ」 後発品	錠5mg 「ケミファ」 後発品
薬価(円/錠)	各10.1	30.3	16.2
適応症比較	高血圧症以外の適応あり	「高血圧症」のみ	高血圧症以外の適応あり
備考	小児への適応がある 嚥下困難時の空咳誘発	最大用量での降圧効果が高いと言われている。	